

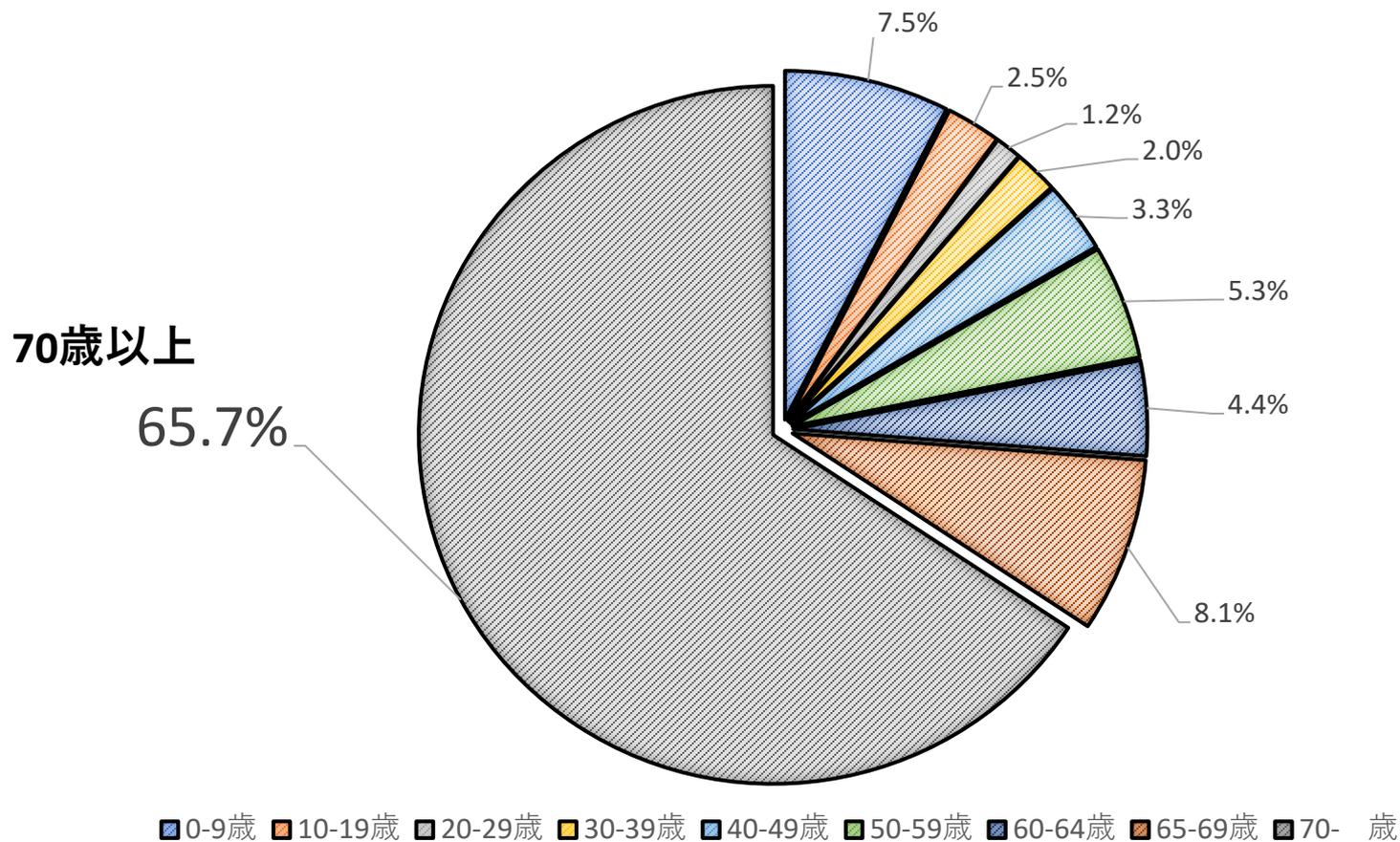
当院摂食嚥下ケアチームの取り組み の紹介

本日の内容：

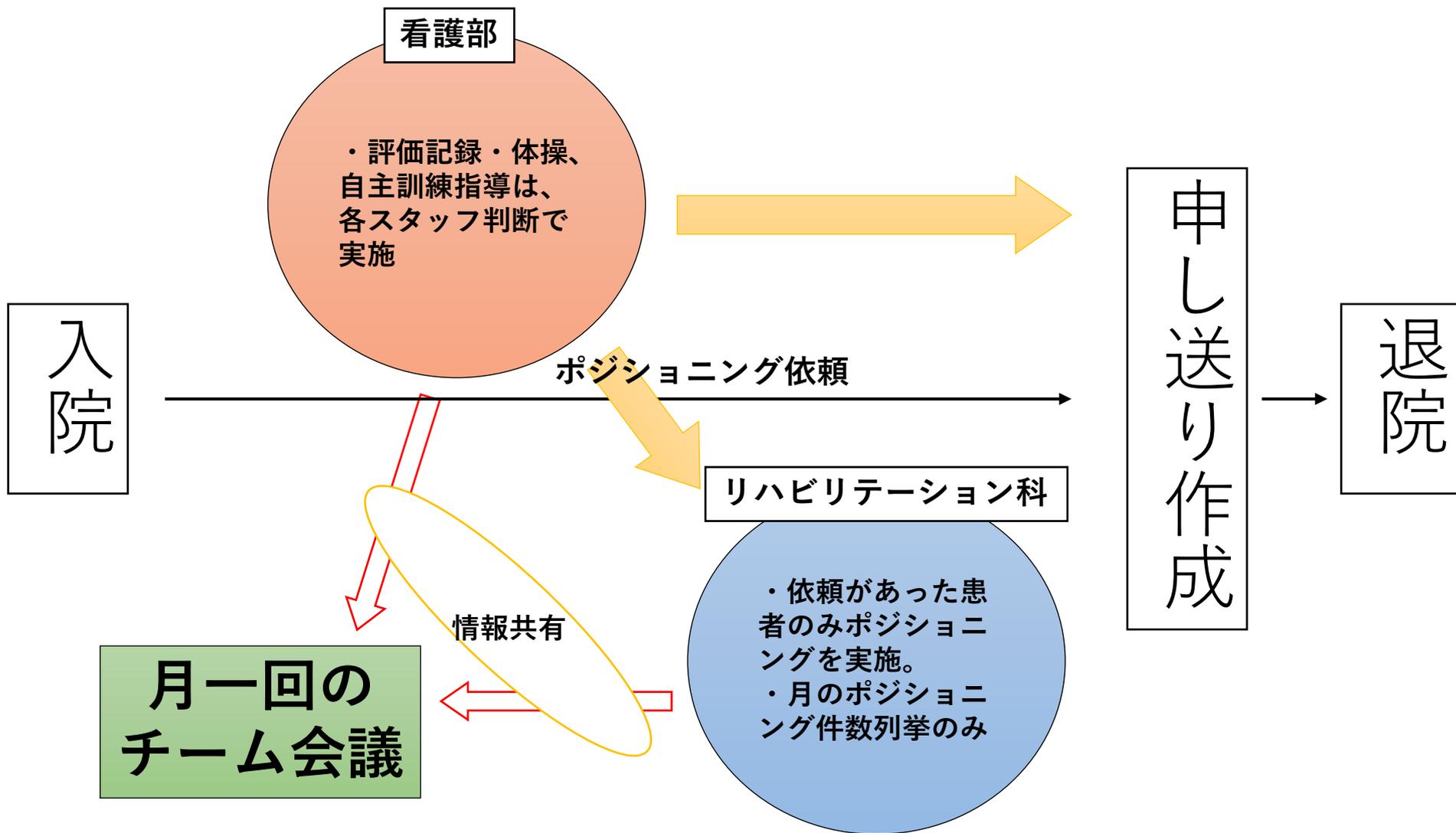
- 1.年齢別患者割合
- 2.チームの機能不全と問題点列挙
- 3.連携の強化と情報の統一
- 4.研修会の企画
- 5.摂食・嚥下ケアチームの流れと今後の課題

JA秋田厚生連湖東厚生病院
リハビリテーション科
作業療法士 小玉和之

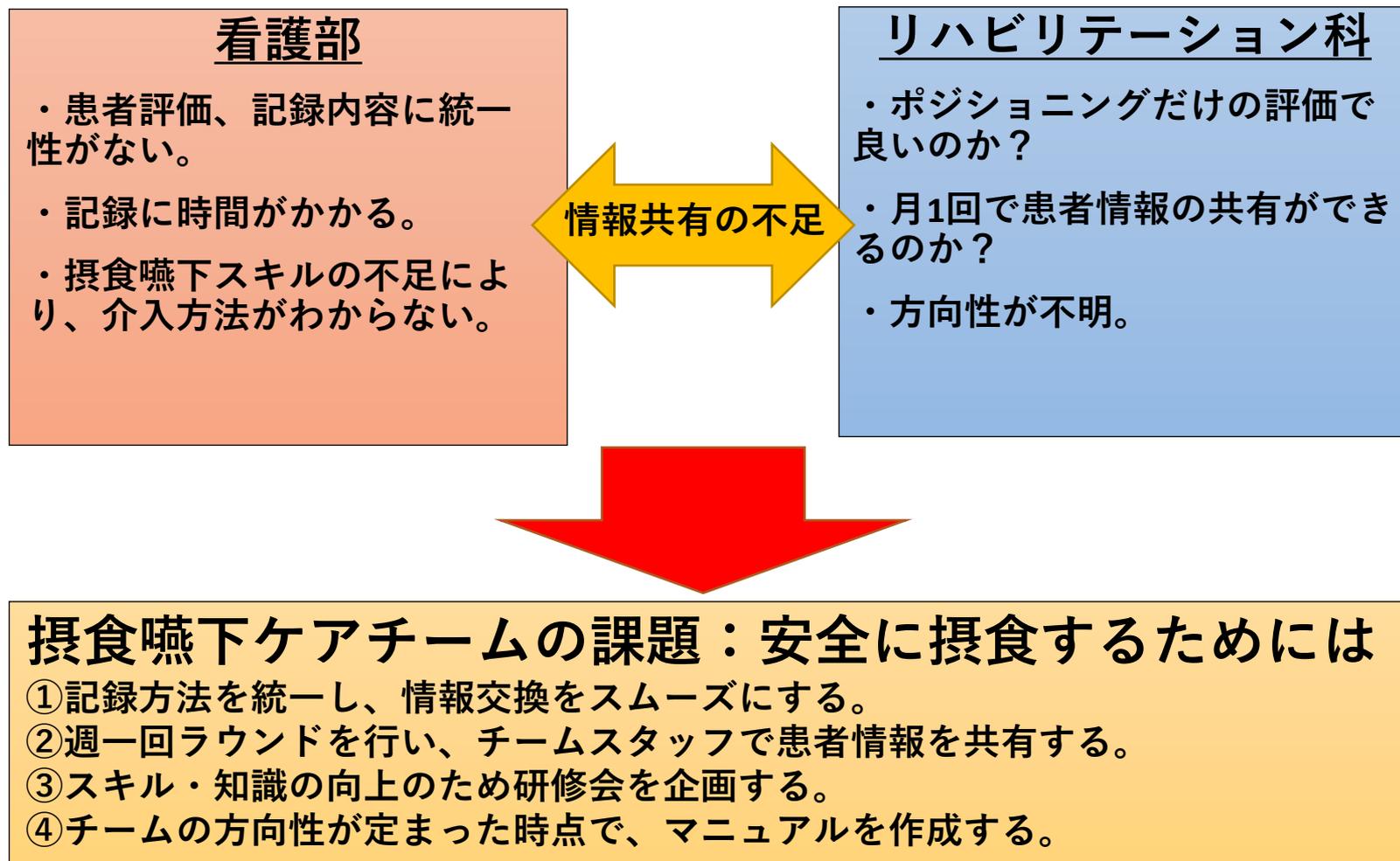
1. 年齢別患者割合



2. チームの機能不全と問題点列挙

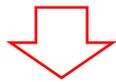
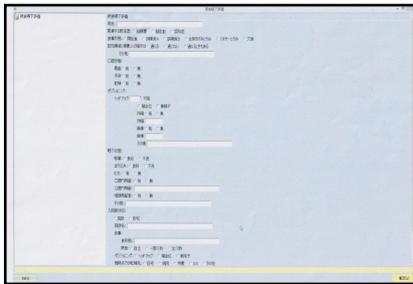


2. チームの機能不全と問題点列挙



3.連携の強化と情報の統一

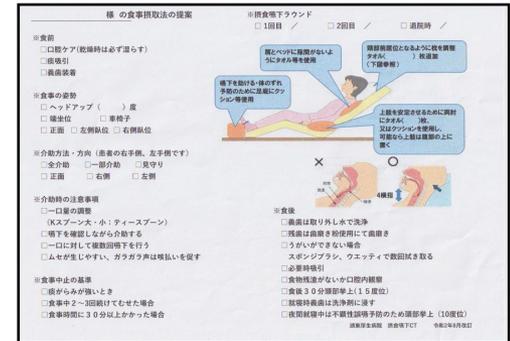
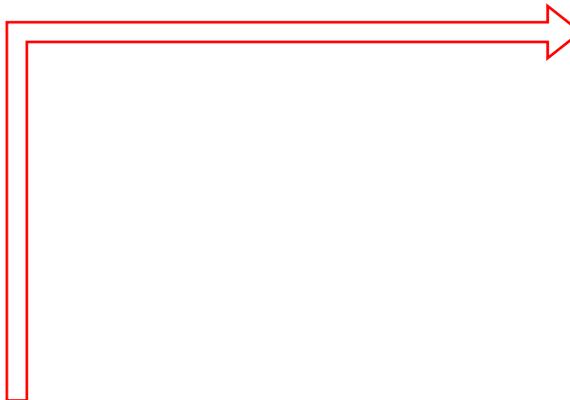
評価項目を入力



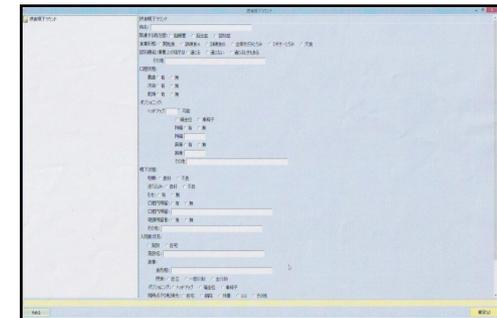
摂食嚥下ケアラウンド
(症例検討)



食事摂取法の提案用紙の作成



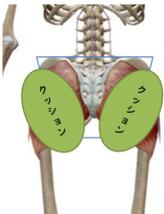
ラウンド内容を入力



PDAカメラでポジショニング撮影



4.研修会の企画

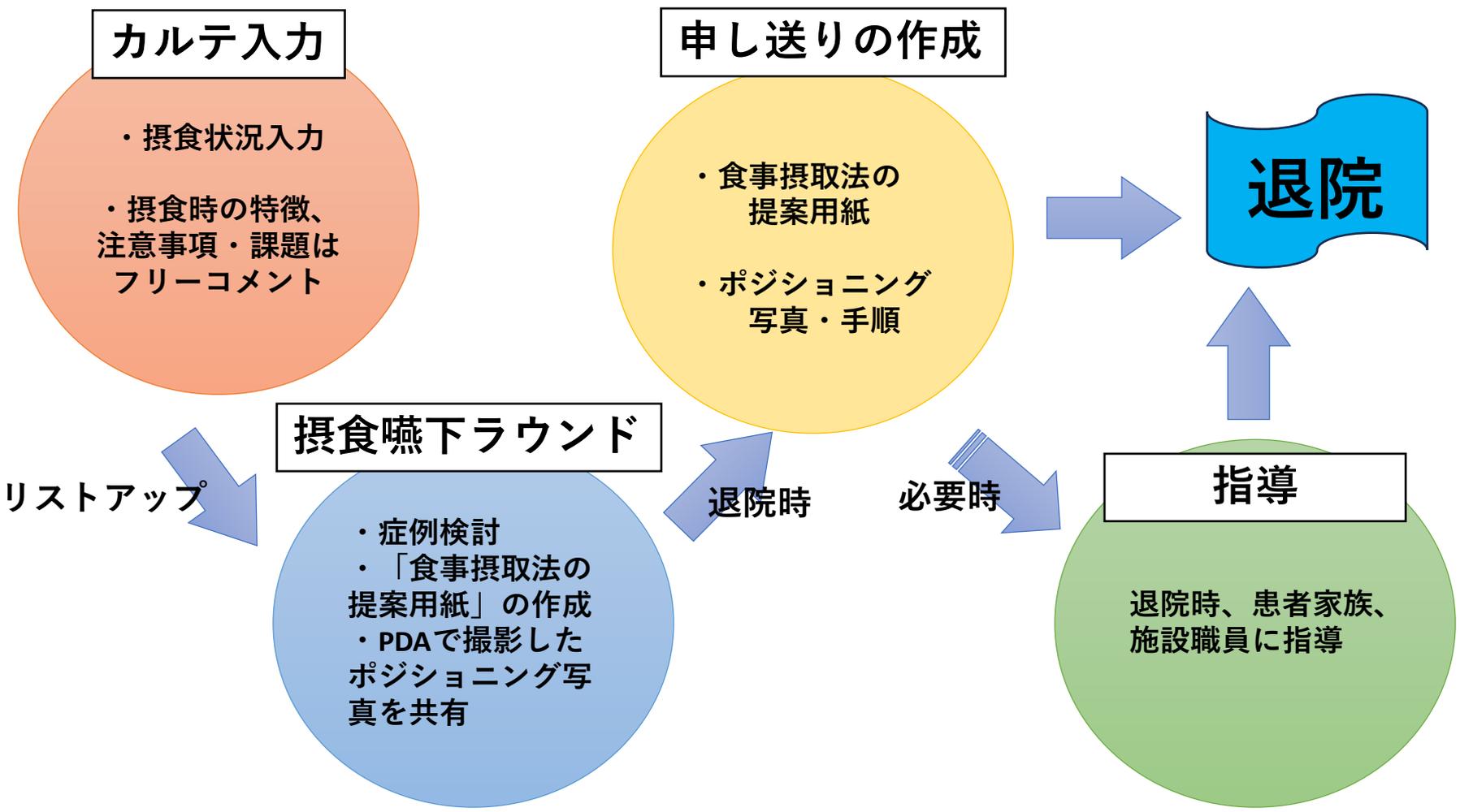
<p>2022/2/22 JA秋田厚生連湖東厚生病院</p> <h2>摂食ポジショニング研修会</h2> <p>リハビリテーション科 作業療法士 小玉和之</p>	<h3>ポジショニング手順の確認</h3> <ol style="list-style-type: none">①位置の修正②骨盤のサポート③足部の安定④リクライニング角度の変更⑤衣類・寝具・ヨレの除去⑥上肢・胸郭の安定⑦頭頸部の安定
<h3>ポジショニング介入(骨盤)</h3>  <p>・台形の骨盤に対して逆ハの字にクッションを当てることで、仙骨の局所圧迫を防ぐと同時に、股関節の外旋を軽減し、腓骨頭への局所圧迫を防ぐことができる。</p> <p>※踵部への局所的な圧力が増えるので注意が必要。</p> <p>(徒手療法による臨床論:大臀筋 図参照)</p>	<h3>①位置の修正</h3>  <ol style="list-style-type: none">① ベッドの回転位置と身体の屈曲点(大転子)に合わせる。② 頭部・肩甲骨上部に枕をセッティングする。 <p>※身体の左右のズレもこの時修正させる。</p>

ポジショニング研修会



- ・年2回「ポジショニング研修会」を開催。
- ・「手順」を統一、スタッフ全員が対応出来ることを目指した。

5. 摂食・嚥下ケアの流れ



※摂食嚥下ケアチーム院内マニュアル作成

今後の摂食ケアチームの課題：

- ・ 専門的な嚥下機能評価によって、より安全な指導が出来る。
- ・ リハビリテーションスタッフ・看護師に管理栄養士を加え、食形態の変更を検討していく。
- ・ 定期的に研修会を行い、ポジショニングだけでなく嚥下機能評価を加えてスキルアップを図る。